

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種110社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を四半期毎に実施し、集計分析を行っております。

令和2年3月～6月期の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】令和2年3月～6月

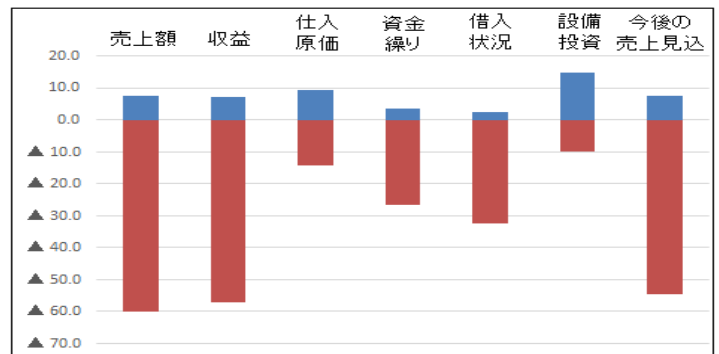
【調査方法】建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種を中小企業を中心に110社にアンケート調査への回答をお願いした。(回答企業数 85社 77.3%)

※DI値の算出方法:①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、  
(①+②)／全体数×100－(④+⑤)／全体数×100でDIを算出する。

問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

※選択肢の目安:「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

全 体		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	1	11	8	28	37	減少
収益	増加	1	10	12	27	35	減少
仕入原価	低下	4	8	49	24	0	上昇
資金繰り	好転	0	6	44	25	10	悪化
借入状況	減少	1	2	44	21	17	増加
設備投資	増加	3	19	52	5	6	減少
今後の売上見込	増加	0	13	11	29	32	減少



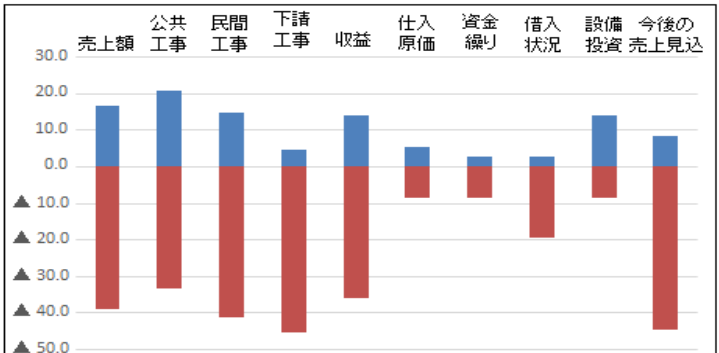
令和2年3月～6月にかけての全業種のDI値については、新型コロナウイルス感染症の影響により、売上額▲52.4ポイント、収益▲50.0ポイント、今後の売上見込▲47.1ポイントと大幅な減少となっている。

また、売上、収益減少に伴い資金繰りも▲22.9ポイントと悪化し、国の金融支援の効果もあり、新規借入及び借換え等が増加し借入状況も▲30.0ポイントとなっている。

一方、補助金の活用の効果もあり、25.9%(22社)の企業が設備投資を増加している。

今後の売上見込については、感染症の先行きが見えない状況等により、71.8%(61社)が減少となっている。

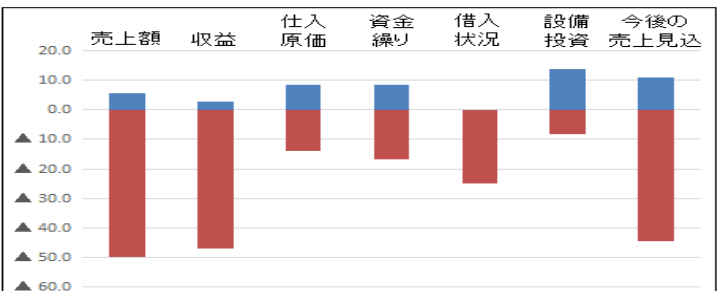
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	0	6	1	8	3	減少
公共工事(元請)	増加	0	5	1	4	2	減少
民間工事(元請)	増加	0	5	2	6	4	減少
下請け工事	増加	0	1	2	6	2	減少
収益	増加	0	5	2	9	2	減少
仕入原価	低下	0	2	13	3	0	上昇
資金繰り	好転	0	1	15	1	1	悪化
借入状況	減少	0	1	11	5	1	増加
設備投資	増加	0	5	11	1	1	減少
今後の売上見込	増加	0	3	3	8	4	減少



※公共工事なし6件、民間工事なし1件、下請け工事なし7件。

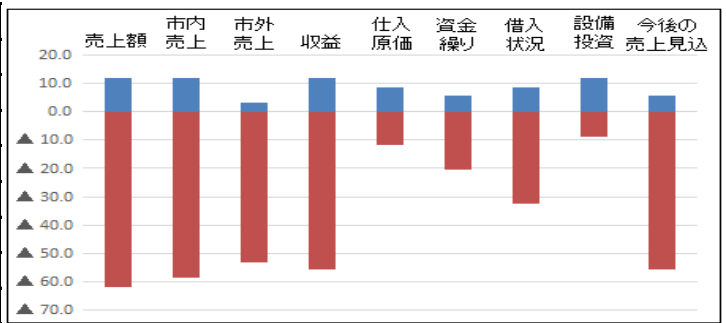
建設業のDI値では、公共工事、民間工事、下請け工事共に減少しており、特に下請け工事が▲40.9ポイントと大幅に減少している。感染症の影響は、他の業種に比べ少ないものの今後の売上見込では、66.7%(12社)が減少となっている。

小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	2	4	6	6	減少
収益	増加	0	1	6	5	6	減少
仕入原価	低下	1	1	11	5	0	上昇
資金繰り	好転	0	3	9	6	0	悪化
借入状況	減少	0	0	11	5	2	増加
設備投資	増加	0	5	11	1	1	減少
今後の売上見込	増加	0	4	3	6	5	減少



小売業のDI値では、売上額、収益共に▲44.4ポイントと大幅に減少し、借入状況も▲25.0ポイントと悪化している。しかしながら、27.8%(5社)が設備投資を増加、22.2%(4社)が今後の売上見込を増加となっている。

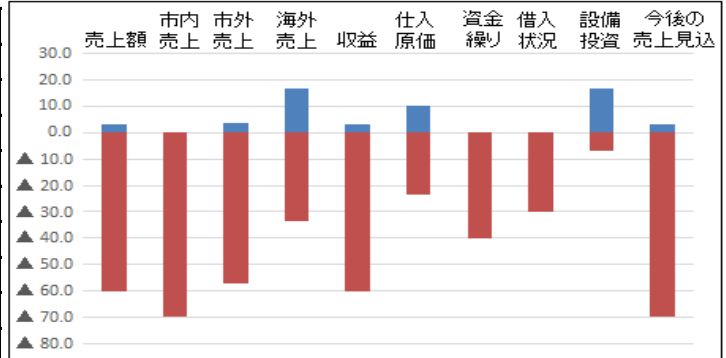
卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	1	2	1	5	8	減少
市内売上	増加	1	2	1	6	7	減少
市外売上	増加	0	1	3	7	5	減少
収益	増加	1	2	2	5	7	減少
仕入原価	低下	0	3	10	4	0	上昇
資金繰り	好転	0	2	8	7	0	悪化
借入状況	減少	1	1	8	3	4	増加
設備投資	増加	1	2	12	1	1	減少
今後の売上見込	増加	0	2	2	7	6	減少



※市外売上なし1件。

卸売業のDI値では、感染症等の影響により、市内売上▲47.1ポイント、市外売上▲50.0ポイントと大幅な減少で全体の売上額も▲50.0ポイントと76.5%が減少しており、今後の売上見込についても▲50.0ポイント(76.5%、13社)となっている。

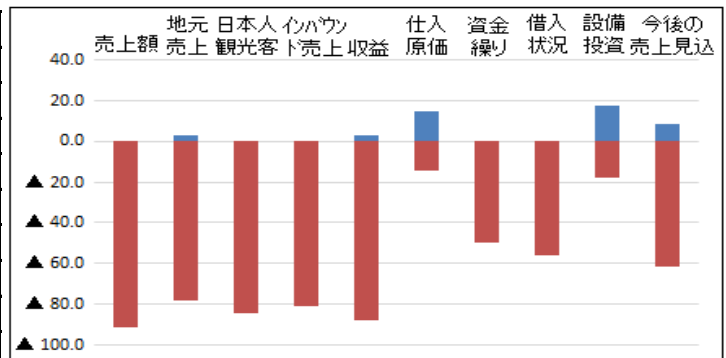
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	0	1	2	6	6	減少
市内売上	増加	0	0	3	3	9	減少
市外売上	増加	0	1	1	8	4	減少
海外売上	増加	0	1	1	0	1	減少
収益	増加	0	1	2	6	6	減少
仕入原価	低下	1	1	6	7	0	上昇
資金繰り	好転	0	0	7	4	4	悪化
借入状況	減少	0	0	8	5	2	増加
設備投資	増加	1	3	10	0	1	減少
今後の売上見込	増加	0	1	2	3	9	減少



※市外売上なし1件、海外売上なし12件。

製造業のDI値では、市内売上▲70.0ポイント、市外売上▲53.6ポイントと全体でも▲56.75ポイントと大幅に減少となっている。今後の売上見込についても▲70ポイント(80.0%、12社)が減少となっている。

観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額(全体)	増加	0	0	0	3	14	減少
地元売上	増加	0	1	1	3	11	減少
日本人観光客売上	増加	0	0	1	3	12	減少
インバウンド売上	増加	0	0	1	1	6	減少
収益	増加	0	1	0	2	14	減少
仕入原価	低下	2	1	9	5	0	上昇
資金繰り	好転	0	0	5	7	5	悪化
借入状況	減少	0	0	6	3	8	増加
設備投資	増加	1	4	8	2	2	減少
今後の売上見込	増加	0	3	1	5	8	減少



※地元売上なし1件、日本人観光客売上なし1件、インバウンド売上なし9件。

観光サービス業のDI値では、新型コロナウイルス感染症の影響により休業された事業所もあり、回答頂いた全ての事業所で減少となっている。今後の売上見込についても感染症の影響により▲61.8ポイント(76.5%、13社)が減少となっている。

問2 今後、新型コロナウイルス感染症により、どの様な影響が見込まれますか。(複数回答可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	(回答割合)
①売上の減少	15	15	13	13	15	71	83.5%
②資金繰りの悪化	2	4	8	6	10	30	35.3%
③商品、原材料等の調達	3	5	2	2	1	13	15.3%
④雇用の調整	1	0	5	3	5	14	16.5%
⑤感染対策等のコスト増加	6	4	5	3	12	30	35.3%
⑥その他	1	0	3	0	2	6	7.1%

※その他:【建設業】市場の先行き不安。作業方法の見直し。【卸売業】来年度、公共工事の減少や設備投資が控えられると思います。地元地域で感染拡大した場合、需要の減少に伴い売上の減少が心配。【観光サービス業】来店減少。再度、休業の可能性。

問3 今後、求められる施策や支援策について教えてください。(複数回答可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	(回答割合)
①金融支援	3	2	6	2	4	17	20.0%
②国、府、市等の給付金	8	6	8	9	12	43	50.6%
③税の減免	9	7	8	4	13	41	48.2%
④雇用対策	4	0	3	2	6	15	17.6%
⑤感染症対策	6	5	7	6	7	31	36.5%
⑥補助金・助成金	8	9	10	8	11	46	54.1%
⑦その他	4	0	2	1	2	9	10.6%

※その他:【建設業】景気対策。公共工事発注の増加。消費税5%or0%。基盤整備推進。地域経済への投資。【卸売業】市民が安心して暮らせる様な施策。【製造業】経済刺激策。【観光サービス業】家賃の6ヶ月以上の補助金。消費税減税(ゼロ)。

◆ご協力頂きました事業所様、ありがとうございました。